



まつもと医療センター

広報誌 Vol. 36 2019.6



信州花フェスタ 信州スカイパーク

◆ 目次

2p 院長就任ごあいさつ <はじめまして>

3p 新副院長、特命副院長の紹介・新任看護部長の紹介

4p 新任副看護部長、看護師長の紹介

5p 新任医師・職員の紹介

6p 病院食＝制限された食事!?

7p 超音波内視鏡検査について

8p バスケットボール部の活動について・編集後記

理念

いのちの尊さを重んじ、質の高いやさしい医療を提供します

基本方針

1. 医学的根拠に基づいた医療を安全に提供します
2. 適切かつ十分な説明を行い、理解と同意を得た医療を提供します
3. 患者さんの思いを大切に、敬意と思いやりの心で接します
4. 地域の医療機関と連携し、地域医療の向上に努めます
5. 教育研修の充実を図り、職員の能力向上と人材育成に努めます
6. 常に前進・研鑽し、臨床研究を通じて医療水準の向上に努めます
7. 明るく健全な病院経営を行います

患者さんの権利

わたしたちは以下の患者さんの権利を守り、最善の医療を提供するように努めます。

1. 良質かつ適正な医療を平等に受ける権利
2. 自己の病状や予後・治療の手順とその危険性および有益性・代替手段についての十分な情報提供を受ける権利
3. 他の医師の意見（セカンドオピニオン）を求める権利
4. 意思に反する場合、情報を知らされない権利
5. 検査の諾否や治療法の選択について、自らが決定する権利
6. いつでも自己の決定を取り消すことができる権利
7. 個人の医療情報に関するプライバシーが守られる権利
8. 健康教育を受ける権利
9. 人格や価値観が尊重され、尊厳を保って生を全うする権利

就任ごあいさつ

こいけ しょういちろう
院長 小池 祥一郎

〈はじめまして〉

4月1日より院長を拝命した小池です。

手術と救急のことばかり考えている生活から一転した生活となりましたが、これからは病院と職員のことを考えていきますので、よろしくお願いします。

昨年5月1日の引っ越しから1年が経ちました。この1年は新しい環境に慣れるための時間でしたが、これから当院は、新たな目標をもって一步を踏み出さなければなりません。

人口が少なくなり、少子高齢化が進む中で、当院の周りの環境もこれからの数年で大きく変化します。では、当院が地域の中で果たすべき役割は何でしょうか？

その答えは、当院の置かれている立地と周囲の病院機能、ここ数年で当院が取り組んできた中にあります。以前から行ってきた診療の中で、支える医療（重心、神経難病）に加え、小児および成人の救急での当院の果たすべき役割は増えています。また、血液疾患や、結核など当院でなければできない治療もあります。これらの疾患の患者さん全体が高齢化している中で、単に治す治療ではなく、体により優しい治療法の選択やその後のケアまで考えることが必要とされています。

このような状況を踏まえて、今年度の病院の目標は次の3つです。

1. 持続発展可能な経営基盤の構築
2. 急性期と慢性期の医療を、安全にバランス良く地域に提供
3. 働きやすい職場環境づくり

病院が存続し、良い医療を提供するためには、健全な経営が必要です。それができなければ、病院の存続自体が危うくなります。収益が改善し、黒字幅が大きくなれば、次の目標である外来棟の新築が見えてきます。

また地域の中で求められる医療を適切に提供できなければ、やはり病院が存続していくことは難しい

でしょう。今までと違うのは、〈やりたいことを好きにやる医療〉ではなく、〈求められる医療を、より満足のいく形で提供する〉ことが必要になります。

今年度からは今まで以上に働き方改革が推進されていきます。しっかり働き、しっかり休む、そしてまたリフレッシュした状態で、職務に取り組めるよう、病院としてもサポートしていきます。積極的な業務改善など、新しいアイデアを歓迎します。

さあ、みんなと、新しい一步を踏み出しましょう。





新副院長、特命副院長の紹介



副院長 たけい 武井 よういち 洋一

4月1日付で、副院長を拝命いたしました武井です。これまで脳神経内科医として、神経難病や認知症の診療を行うとともに、臨床研究部長として臨床研究、ならびに研修医教育にも携わってきました。今後は医療安全、経営および病院運営をはじめ、院内の諸問題に広く対応できるよう努力したいと思います。特に、当院を受診される方々に対し、安全な医療を提供することはもとより、院内の職員が気持ちよく働ける環境づくりを目指したいと思います。

小池院長をサポートし、当院の発展に少しでも貢献できるよう、日々努力していく所存ですので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



特命副院長 いわさき 岩崎 やすし 康

この春より特命副院長を拝命いたしました岩崎です。「特命」ってなに？と思われる方も多いのではないかと思います。どこか民放テレビ局の刑事番組を思い出して「窓際？」とか「人材の墓場？」と思われる方もいらっしゃるかもしれませんがそうではありません。「経営改善担当」の副院長です。相棒は副院長？

当院は統合して1年がたち、診療は徐々に軌道に乗ってまいりました。今後は経営をさらに安定させ、新しい医療機械を導入して医療の向上につなげることで、古くなっている外来棟の新築を実現してアメニティを向上させることが当面の目標です。

よりよい医療になる基盤固めのために精一杯努力する所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



NURSE

新任看護部長の紹介



看護部長 こんどう 近藤 さいこ 才子

この度、4月1日付で長野市の東長野病院より異動して参りました看護部長の近藤才子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

長野県は広く同じ県内とはいえ長野市と松本市の気候の違いを感じております。今年は4月に真冬並みの雪が降りびっくりしましたが、北アルプスの壮大な景色に毎日癒されています。まつもと医療センターは昨年、名実共に2つの病院が1つとなりスタートしました。22の診療科を有し、小児から高齢者、急性期から慢性期まで幅広い年齢層の方への医療を提供しています。地域の病院として、皆様に安全で安心できる質の高い医療・看護を提供できるよう職員一丸となり努めて参りますので、今後ともご支援をよろしくお願い申し上げます。





新任副看護部長、看護師長の紹介



副看護部長 もり ゆきこ 森 由紀子

4月1日付けで、東京病院から副看護部長昇任で参りました。

看護学校時代より東京で過ごし、仕事も東京都内で勤務させて頂いておりましたので、今回の異動は、初めて東京を出ることになり、自分にとっての大きな転機だと感じております。

赴任早々から、厳しい寒さと雪に、今後の生活に不安を感じてしまいましたが、環境には体が慣れていくことと思います。豊かな自然と美味しい食べ物を満喫しながら、松本生活を送っていきたくて思っております。

微力ではありますが、今後、まつもと医療センターの看護の質の向上、人材育成に勤しんで参りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。



看護師長 しげや やよい 渋谷 弥生

この度、平成31年度4月1日付けで看護師長昇任となり、横浜医療センターよりまつもと医療センターに異動し着任致しました。神奈川県から長野県に移動してきてまだ慣れないことも多く不安もあります。長野県は景色がきれいで環境がとてもいいなという印象を受けました。病院も住む環境も立場も変わりともどうことが多くあります。

慣れるのに時間はかかると思いますが、一つ一つ自己学習を積み重ねて看護管理について学び実践できるようになりたいと思っております。また、患者さんやスタッフの声にも積極的に耳を傾けていきたいと考えています。



看護師長 たのうえ くみこ 田之上 久美子

はじめまして。甲府病院より配置換えでまいりました、西1病棟看護師長 田之上久美子です。看護師長歴は11年目になります。まつもと医療センターには会議や研修などで、ほぼ毎月伺っていたので、初めての病院という緊張感はあまりなく、新しい環境にワクワクしております。

患者さんやスタッフのみなさんが楽しく過ごしていけるよう、頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



看護師長 こばやし まり 小林 麻理

今年4月より東6病棟の看護師長になりました小林です。よろしくお願いいたします。

生まれも育ちも相模原で、人生で初めての転勤で松本に参りました。

松本には、松本城、山々、美味しいお蕎麦など素晴らしいものがたくさんあります。これから松本の魅力を楽しもうと思っております。

東6病棟からの山々の景色は素晴らしく、山が患者様を応援してくれているように感じています。新しい環境に戸惑うことはありますが、皆様の支えのおかげで毎日過ごすことができています。

松本はカラッとしていて過ごしやすいですが、お肌のシワらしきものが進行していますので、乾燥しないようお手入れしていこうと思っております。



新任医師・職員の紹介

4月よりまつもと医療センターで勤務しております。
どうぞよろしくお願いいたします。

医師

◆常勤医師

外科医師
すぎやま さとし
杉山 聡

小児科医師
さど ともみつ
佐渡 智光

小児科医師
ふじい ひとみ
藤井 仁深

呼吸器内科医師
まるの たかし
丸野 崇志

消化器内科医師
たいく ほう せいいち
大工原 誠一

腎臓内科医師
ふじた さとし
藤田 識志

◆研修医

研修医
からさわ たかゆき
唐澤 崇之

研修医
きたがわ ようた
北川 陽太

研修医
きたがわ ちひろ
北川 千紜

研修医
さかい ゆずき
坂井 柚季

職員

療育指導室長
ふかまち ひさえ
深町 尚衣

4月1日付で着任しました、療育指導室長の深町尚衣(ふかまち ひさえ)です。前任は神奈川県秦野市にある神奈川病院にて勤務しておりました。

長野県内での勤務は初めてとなり、毎日、出勤する時に見える北アルプスの山々の景色が日々変わっていく様子を楽しみにしています。

療育指導室は児童指導員と保育士が配置されており、重症心身障害児者及び小児慢性疾患児への生活援助や相談支援を行っております。利用者や患児一人ひとりが豊かな生活を送ることができるよう、個々のストレングス(強み)を活かして支援に取り組んでおります。昨年5月に新しい病棟となりましたので、重症心身障害病棟の見学を希望する方がおりましたら、当室へお声掛け下さい。

薬剤部
こばやし かつとし
小林 勝利

これから、このまつもと医療センターで経験を積み、立派な薬剤師になれるようがんばります。よろしくお願いいたします。

薬剤部
いいじま まさひろ
飯島 雅博

新卒で採用されました飯島雅博です。がんばりますのでよろしくおねがいします。

臨床検査科
みやはら ひでかず
宮原 秀和

4月より、まつもと医療センターの臨床検査科に採用になりました宮原です。正しい検査結果を迅速に報告できるよう日々頑張ります。

臨床検査科
なかね たけひろ
中根 丈裕

災害医療センターより赴任いたしました臨床検査科の中根丈裕と申します。質の高い医療を提供できるよう努めて参りますのでよろしくお願いいたします。

生理検査室
にし の ゆり
西野 有里

患者様の不安を取り除き、的確な検査が行えるように頑張りますので、宜しくお願い致します。

放射線科
よこやま たくま
横山 琢磨

4月に相模原病院から異動した放射線科の横山琢磨です。仕事に一生懸命取り組みます。よろしくお願いいたします。

リハビリテーション科 理学療法士長
はまち えいじ
濱地 英次

この4月にリハビリテーション科の理学療法士長として赴任しました濱地英次と申します。前任地は東京医療センターで、自宅は千葉になります。松本に来て、寒さと4月の雪には驚かされましたが、通勤中や病院から眺めるアルプスの壮大なパノラマには目を奪われています。この前、弘法山古墳に桜を見に行ったのですが、桜とアルプスのコラボが見事でした。早くも松本の自然に魅了されています。しばらく松本に住むことになると思っていますので、良いところがあればぜひ教えていただければ嬉しいです。リハビリテーション科は、急性期から慢性期まで幅広い分野で、皆様のお役に立てるように日々診療に励んでいます。リハビリテーション科のスタッフ共々、今後ともよろしくお願いいたします。

リハビリテーション科 作業療法士
くぼ た ゆみ
窪田 祐美

4月より作業療法士として西新潟中央病院から転動してきました窪田祐美と申します。長野県の地元で働けることをうれしく思っています。よろしくお願いいたします。

リハビリテーション科 作業療法士
ももしま ゆうすけ
百嶋 祐介

4月より作業療法士として採用されました百嶋祐介と申します。新天地で気持ちを新たに頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

リハビリテーション科 理学療法士
こうづ かずひと
神津 和仁

4月より理学療法士として参りました新人の神津和仁と申します。東京から来た新参者ですが、多くのことを吸収しながら成長していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

リハビリテーション科 理学療法士
うしやま せいや
牛山 聖也

4月より理学療法士として参りました新人の牛山聖也と申します。これから多くのことを吸収しながら成長していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

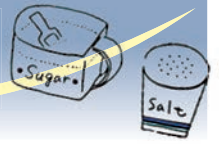
栄養管理科
ますどめ かな
益留 夏菜

埼玉から翔んできました。病棟・外来どこへでも翔んでいきます！お気軽にお声掛けください。





病院食=制限された食事!?



栄養管理科 管理栄養士 荒井 愛那
あらい ちかな

日々の楽しみや、生活のリズムとなる食事。皆さんは『病院食』と聞いて、どのような食事をイメージされますか？今回は、まつもと医療センターの食事についてご紹介いたします。

まつもと医療センターの食事

- 食事の種類** 一般食（常菜食・軟菜食・学童食・幼児食・離乳食・分粥食）
治療食（糖尿病食・糖尿病性腎症食・腎臓食・透析食・心臓病食・肝臓食・膵臓食・貧血食・低菌食・消化管術後食・低残渣食）
嚥下訓練食・形態調整食 等
- 主食の種類** 米飯・軟飯・おにぎり・粥・そうめん・うどん・パン 等
患者さんの病状に合わせて変更することが出来ます。

◆セレクトメニューについて

治療上、特に制限のない方には、ご自身で食事内容を選択出来る『セレクトメニュー』をご用意しております。申し込み用紙を患者さんに配布し、ご希望の食事をお選びいただけます。



セレクトメニュー申込書

病棟: ○○病棟
氏名: ○○ ○○○ 様

※ 04月18日(木曜日) 08:00 までに

セレクトメニュー(印)をご希望の方のみナースセンターに置いてあります回収期にお入れ下さい。

予定献立表>	常菜食	04月22日 月曜日	04月23日 火曜日	04月24日 水曜日	04月25日 木曜日
基準メニュー(A)	セレクトメニュー(B)	基準メニュー(A)	セレクトメニュー(B)	基準メニュー(A)	セレクトメニュー(B)
お召し上がりの主食	白飯	お召し上がりの主食	白飯	お召し上がりの主食	白飯
みそ汁	コンソメスープ	みそ汁	トシトシ汁	みそ汁	コンソメスープ
サラダ	ポテトサラダ	ポテトサラダ	ポテトサラダ	ポテトサラダ	ポテトサラダ
お肉	鶏肉	鶏肉	鶏肉	鶏肉	鶏肉
お魚	魚	魚	魚	魚	魚
お豆腐	豆腐	豆腐	豆腐	豆腐	豆腐
お野菜	野菜	野菜	野菜	野菜	野菜
おパン	パン	パン	パン	パン	パン
おデザート	デザート	デザート	デザート	デザート	デザート
お飲み物	飲み物	飲み物	飲み物	飲み物	飲み物
お茶	お茶	お茶	お茶	お茶	お茶

基準メニュー(A)
食パン
クリームシチュー
大根とツツのツツ
お浸し
マンゴー
お茶

セレクトメニュー(B)
醤油ラーメン
大根とツツのツツ
お浸し
マンゴー
お茶

◆行事食について

季節の味覚や特別な雰囲気を感じていただきたく、毎月行事食を実施しています。



おわりに…患者さんより「おいしかった」、「食事が楽しみです」等のメッセージを頂戴することがあります。頂いたメッセージは栄養管理科職員全員で回覧し、私達の励みとさせていただきます。入院中の食事がもっと楽しみとなるよう、より一層努力して参りたいと思います。今日も、おいしい食事をとどけるぞ～！





超音波内視鏡検査について

内科系診療部長 宮林 秀晴 みやばやし ひで はる

普通の内視鏡は実際に内視鏡の前のものを映し出して画像にするするファイバースコープを原型としています。現在ではCCDカメラにより、人間の目で見えるようにしてテレビ画像にしていますが、一風変わった内視鏡として内視鏡の先端に超音波装置とCCDカメラがついている超音波内視鏡という装置があります。

通常 of 腹壁・胸壁からの超音波検査とどこが違うかというと、

超音波内視鏡は

- ①胃や腸などの中を水浸しにして消化管の表面の粘膜内構造を診て、がんの深さを診断して、内視鏡手術か外科手術かを判断する。
- ②胃や腸の表面から見えない深部の粘膜の下に何があるか、また粘膜の下にできた腫瘍（粘膜下腫瘍）の性質を黒白の濃淡により映し出して、その形や内部のパターンから良性か悪性かを診断する、また大きさを正確に知って手術するか否かを判断する。
- ③膵臓や胆嚢・胆管、リンパ節など胃や十二指腸・大腸などを通して観察し、がんやそのほかの腫瘍の診断をすると共にその大きさを計る。
- ④コンベックス型と言われる壁外超音波と同じ方式の超音波内視鏡を用いて膵臓やリンパ節などの穿刺吸引細胞診を行ったり、通常 of 膵胆管造影で治療のできない胆管に刺すことによって胆汁や消化管のドレナージ（汚い液を流すこと）を行うことができる。

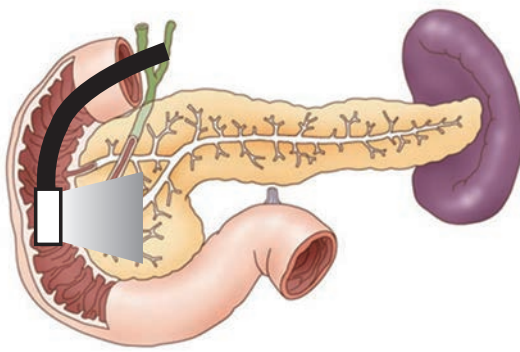
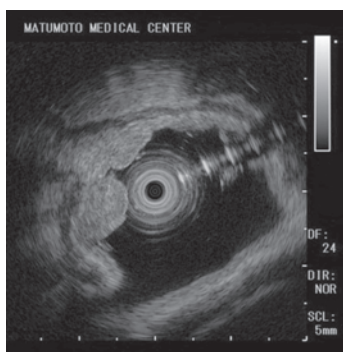
などの特徴があります。

腹壁外の超音波に比べて、臓器の近くから、また、超音波の弱点である大腸や胃のガスに邪魔されず、拡大率の大きな画像を得ることができます。

ただし、通常の内視鏡に比べて3-5mm直径が太いため、通常は眠り薬を注射してから飲んでもらい、通常の内視鏡よりも時間がかかり、最低10分程度は検査時間がかかることが欠点と言えます。

当院でも観察用のラジアルタイプの超音波内視鏡専用機、穿刺吸引細胞診を主に行うコンベックス型の超音波内視鏡専用機、通用内視鏡から入れるタイプのプローブ型超音波内視鏡などを完備しており、週1-4例程度検査を行っています。

入院の必要がない検査がほとんどですので、診断の難しい病気の場合は消化器専門医に相談してみてください。



バスケットボール部の活動について

管理課庶務班長 ^{たかぎ} 高木 ^{よしゆき} 靖之

平成29年9月より、職員同士の交流を深めるために有志メンバーでバスケットボール部を設立し、月2回程度の活動を行っています。とくに病院公認の部活ではないのですが、口コミでバスケ部の活動情報が院内に広がり、現在では総勢38名がバスケ部LINEグループに登録されています。

いまのところ公式戦等に参加する予定はありませんが、「とにかく楽しく、怪我をせず」をモットーに、市内の体育館で練習しています。参加メンバーのなかにはバスケ未経験者も大勢いますが、体を動かすことが好きな職員が集まっているので、練習を重ねるたびにレベルアップしているような実感があります。



編集後記



平成から令和へと新しい時代を迎えました。この記念すべき号の編集後記を任され、幸せを噛み締めています。まつもと医療センターが、さらに地域に根差した愛される病院になれたらいいなあ〜と、強い日差しの西日を見つめ思います。そろそろ、日よけのすだれが必要かな。猛暑の夏にならなきゃいいなあ〜と祈ります。(Y)

まつもと医療センター 第36号

令和 元年 6月発行

発行人 院長 小池 祥一郎

〒399-8701

長野県松本市村井町南2丁目20番

TEL.0263-58-4567 FAX.0263-86-3183

<http://mmccenta.jp/>